

6月取手市議会
開会中
6/10~25

「コロナ禍」今こそ、命と健康、子どもと市民の安全・暮らしを守る政治を **日本共産党**

市独自のPCR検査の実施。国保税引き下げ
開発への際限なき税金投入・水道料金値上げ中止を求めます。

一人30分間に短縮された一般質問は6月11日（金）と
14日（月）で、共産党議員の質問は14日（月）に行わ
れます。傍聴にお出かけください。

小池 えつ子 14日（月）午前11時予定

- ①コロナ禍の中、「生理の貧困」への支援策を
- ②取手市独自のPCR検査実施を

遠山智恵子 14日（月）午前11:30予定

- ①国保税均等割り18歳未満の子ども全額免除を
- ②放課後こどもクラブの民営化を質す
- ③ゲリラ豪雨・大雨対策について

加増充子 14日（月）午後1時予定

取手駅西口開発における

- ①区画整理の公正・誠実な対応で早期終息を
- ②A街区再開発の見直し・中止、情報公開を

昨年の6月議会はコロナで多くの市
民が影響を受け、取手市の対策が急が
れる中、コロナ関連の質問を議会自ら
が封じました。多くの市民や有識者か
ら議会の役割放棄と厳しい声が寄せら
れました。あれから一年、一般質問は
半分の時間となり、大会議室は感染の
可能性が低いが多く委員会がオンラ
イン開催となり、市民の請願主旨説明
への質問も議員は画面を通してのもの
となりました。市民に開かれた議会に
なっているか6月議会が問われます。

関戸 勇 14日（月）午後2時予定

取手市基本構想と水問題を問う

- ①「安全・安心な」水道整備について質す
- ②生活直撃の水道料金値上げ市民の理解
得られるのか

感染症など災害時こそ 大事な議会の役割
オンラインと時短運営で果たせるか

「取手駅西口開発」を問う シリーズ⑦

A街区再開発事業（タワマンなど） デベロッパーには
至れり尽くせり

基盤整備に30年 事業費200億円

区画整理

区画整理事業（取手市施
行）は、大詰めを迎え、工事
中の暫定駅前広場のあと、
駅前交通広場の整備で、2
023年3月を事業終了予
定としています。
地域住民と市民軽視の事

業手法で事業は遅れ、スタ
ートから30年でやっと終
息。
6.5haの基盤整備だけ
で約200億円と事業費は
膨らみ続けました。

再
開
発
事
業

市 は、巨額の補助金

区画整理終了後のA街区に計画する
地権者組合施行の再開発事業（タワ
マンションなど）の詳細は明らかにされて
いません。

市の委託による「計画立案支援業務報
告」（2017年）での、総事業費は14
7億9300万円。財源には市の補助金
と公共施設ビル床購入分が含まれます。
（都市再生特別措置法により、さらに市補助
金のかさ上げが予定されます）

A街区再開発事業（タワマンなど）＝権利者組合施行

事業費と財源の概要 住宅戸数300戸の場合（2017年計画立案支援業務報告）

支出（事業費）	金額	（割合）		収入	金額	（割合）
調査設計計画費	775,000	(5.2%)	補 助 金	再開発補助金	3,174,600	
土地整備費	70,000	(0.5%)		緊急促進補助金	399,400	
工事費	12,996,000	(87.9%)		補助金計	3,574,000	(24.2%)
事務費等	952,000	(6.4%)		保留床処分金	11,219,000	(75.8%)
計：総事業費	14,793,000	(100%)		計	14,793,000	(100%)

上記は、準備組合が検討の土台とする「計画立案支援業務報告」の事業費・財源など

*保留床処分金＝権利者の取り分を除くビル床を売却し事業費に充てるものでその中には、
市が購入する公共施設のビル床約16.8億円（3300㎡）が含まれます。

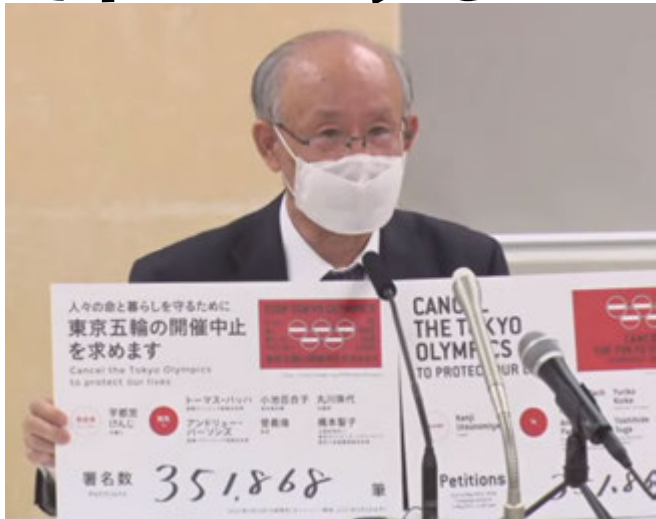
地主は、実質土地を失う

再開発は、敷地の共同化・高度利用に
より、原則等価で地主の権利は、土地か
ら再開発ビルの床に置き換えられます。
高度利用で生み出されたビル床（保留
床）を処分して事業費に充てます。

地主の資産は、権利変換したビル床と
それに相当する敷地、当初の僅か1割弱
となります。

それでもやるの？東京五輪・パラリンピック！

五輪
民輪
の中止
最決
優断
先し
に
日本共産党



第4波の感染拡大で緊急事態宣言が解除されないのに、政府や東京都はワクチン頼みで国民の8割が中止を求める「五輪・パラリンピック開催」に突き進んでいます。日本共産党は、五輪・パラリンピックは中止し、コロナ対策に集中して国民の命と暮らしを守ることを最優先に、と主張しています。6月取手市議会には、共産党市議団が呼びかけ他会派と共同で、政府・都知事に対し五輪開催中止の決断を求める意見書案を提出しました。

5輪中止を求める署名を東京都とIOCに要望書を提出し5月14日記者会見する宇都宮健二氏（元日弁連会長）（6月初旬までに41万筆を超えています）

国民に外出自粛、子ども90万人オリ・パラ観戦

国民には、不要不急の外出を禁じ、会場外で競技を大型スクリーンで中継するライブサイトを全国250ヶ所で計画。都内の幼稚園から高校までの子ども90万人を観戦に動員する計画など、コロナ禍の

真っ只中でありえない計画を進める政府や東京都に批判が殺到しています。世論調査でも延期、中止の声が8割、中止を求めるネット署名が41万筆を超えました。

両立しない コロナ対策と五輪・パラリンピック

5輪への医療従事者7千人派遣要請などに危機感を持つ勤務医の労働組合「全国医師ユニオン」は、五輪・パラリンピックの中止を求める要請書を菅首相宛てに提出し、国際的に

も注目を集めています。政府分科会の尾身会長も「このパンデミックの中、やるというのは普通ではない。」と国会で答弁しています。

命を守る水だから、安全で低料金が願いです。

水道料金値上げやめて・・・広がる値上げストップ署名

「水道問題を考える会」の呼びかけで始まった署名は、暮らしに直結する水問題。政治的立場の違いを超えて、牛久や龍ヶ崎、利根町、取手市内各地で、急速に広がり「このコロナ禍」の中、値上げどころか値下げしての声が寄せられています。

水は、毎日使わないわけにはいかないから、値上げは本当に困る。コロナも大変だし、もう、井戸でも掘るしかないね。（70歳男性）

値上げが大幅、毎月のことで生活を直撃します。使わない水の料金払わされているって本当？だったら使っている分だけにすれば、値上げしなくてもいいのでは？（60代女性）

県南水道議会でいろいろ決まるらしいけど、取手市民の生活に関係することだから、市議さんたちも知らんぷりで、市議会も話し合っていない。（60代女性）

施設や設備の老朽化は不安です。命を守る水だから、安全は何より重要。支出に無駄はないかよく調べ、住民の負担を減らしてほしい。（50代女性）

企業団の説明では、使っていない水の分まで契約し、その分も支払っている説明はなく、質問されやっとその資料を出しました。隠そうとする印象を受けます。（60代女性）

各県の水道料金のランキングで、茨城県は高くて6位。今でも高いのにさらに高くなるのは困ります。こんなことで1位になりたくない。（50代女性）

上下水道料金は、月15000円、これ以上料金値上げは困ります。夏に向かうのに庭の水まきができない。コロナ禍の中で、どうすればいいの。（夫婦と子ども4人家族）

「値上げ案のチラシを見てびっくりした」「ハートのない行政は困る」と話しが弾み、ダム建設など公共事業の無駄遣い、その上に、余分な水の分まで水道料金に？（40代男性）



水道料金値上げストップ署名をよびかけ加増市議左側と小池市議（取手駅西口6-5）

都市計画道路（新道みずき野線）整備が進む下高井交差点現地を確認する住民と加増みつ子市議（6月6日）



＜都市計画道路「新道・みずき野線」下高井交差点＞ 交差点に「信号機」が付かない!?

今年度中の開通に向け工事が進む、ゆめみ野から守谷に向かう「新道・みずき野線」。ところが「下高井交差点」の安全対策について、地元住民と加増市議の問い合わせに、道路施行者の茨城県竜ヶ崎工務事務所と、取手市は「信号設置

の予定はない」と答えました。完成後、交通量の飛躍的拡大が予想される新設交差点に「信号機無いのはあり得ない」と、地元から声が上がっています。皆さんと力をあわせ「信号機」設置に努めます。